

# CY4449

お買い上げ有難う御座います。

SIZE : SD

ver.2003

## 組立説明書

組立は2名以上でお組立て下さい。



必ずマットレスをご使用下さい。

※仕様は予告なしに改良する場合があります。

表示者

株式会社ビックスリー

〒339-0067 埼玉県さいたま市岩槻区西町4-2-1

生産国：中国製

## 安全に組立をして頂くために

※組立を始める前にご確認下さい。

● 広い場所を確保し、床に傷がつかないようにご注意下さい。

## ⇒ お客様にご用意いただく道具

### ●ドライバー

ネジ穴の大きさに合ったドライバーをご使用下さい。

ネジ穴に合わないものをご使用になると、ネジ穴をつぶしてしまう場合があります。

※電動ドライバーを使用する際は、ネジの締めすぎにご注意下さい。

## ⇒ 部品・付属品について

● ネジをきつくしめすぎるとネジ穴が破損するおそれがありますので十分にご注意下さい。

● 部品・付属品に不備がないかお確かめのうえ、組立を開始して下さい。

※実際の部品と説明書記載のイラストが多少異なる場合がございますがご了承下さい。

## ⇒ カムロックについて

● カムロックは以下の点に注意して取り付けを行って下さい。



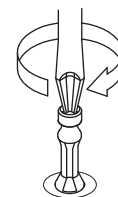
カムロック  
ボルト



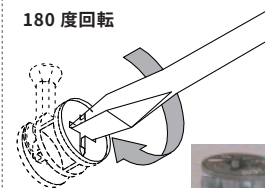
カムロック

カムロックの矢印側の開口部は、カムロックにカムロックボルトが入った状態で回転させると、開口部とカムロックボルトの頭がかみ合い、抜けなくなる仕組みとなっております。

カムロックボルトをしっかりと奥まで取り付ける。



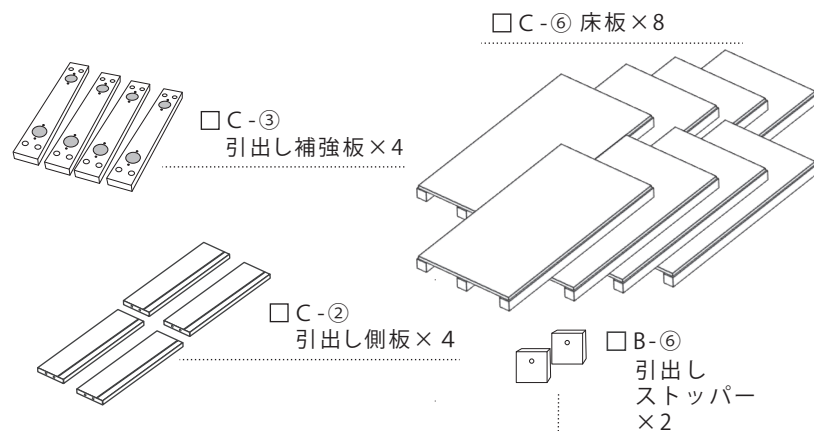
180度回転



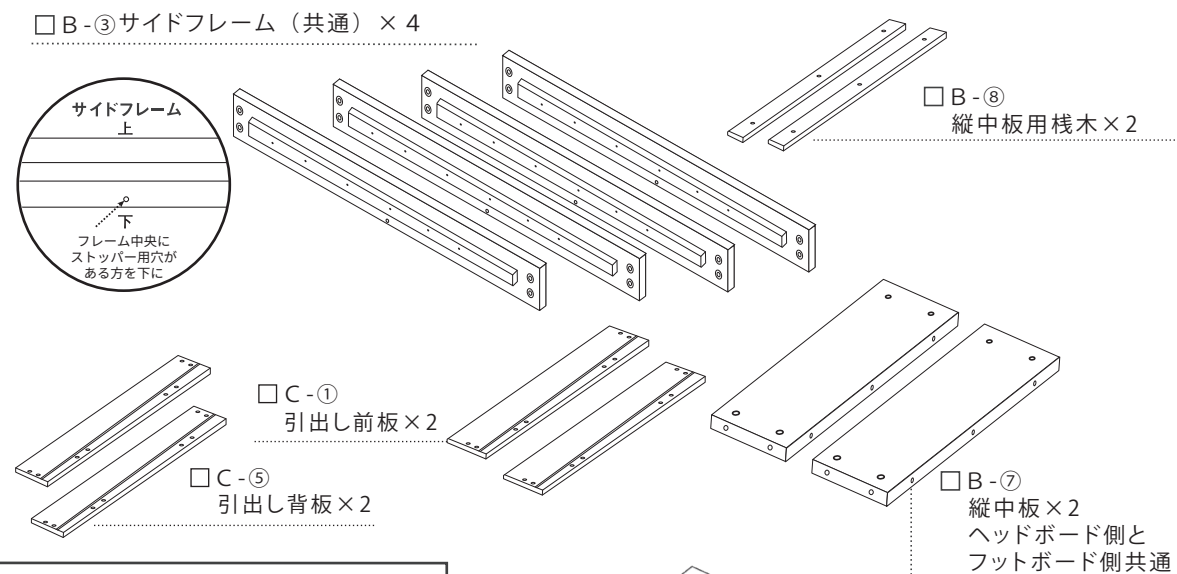
## 梱包内容

※部材には番号のシールが貼ってあります。 ※□に☑をつけていくと部材の確認ができます。

### 4-4 梱包



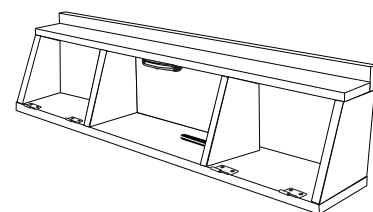
### 4-3 梱包



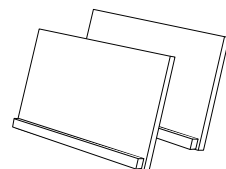
### 4-1 梱包

部材名	図	個数
a ネジ		16
c フェルト		50
d カムロックボルト		53
e カムロック		53
f ボルト		24
g 連結ボルト		× 4
h 六角レンチ		大×1 小×1
i 平型連結金具		2
j L型連結金具		6

p	B-⑧取付ネジ		6
s	キャスター		8
u	長ボルト		2

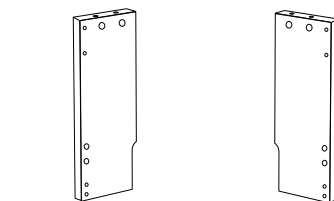


□ D-① ヘッドボードトップ

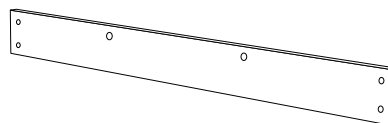


□ D-②  
ヘッドボード扉 × 2

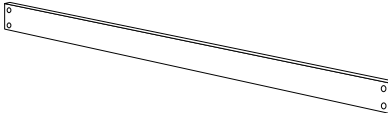
□ A-⑤ ヘッドボード側板左 × 1    □ A-⑥ ヘッドボード側板右 × 1



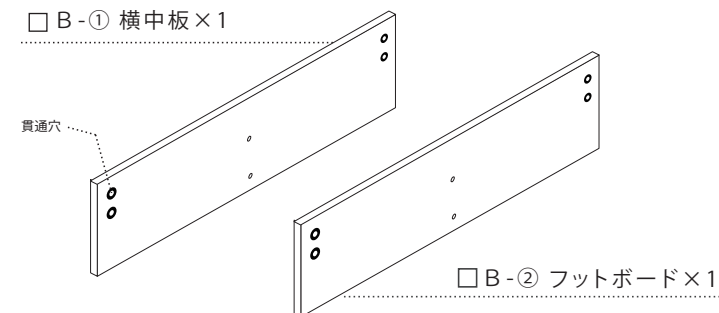
□ A-③ ヘッドボード前板 × 1



□ A-④ ヘッドボード背補強板 × 1



### 4-2 梱包



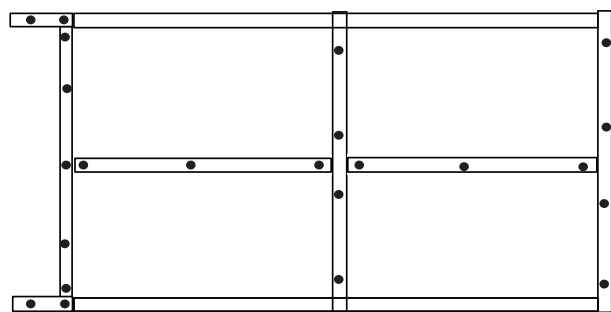
● 予備  
d,カムロックボルト×2  
e,カムロック×2  
f,ボルト×2  
g,連結ボルト×1    カムロックボルト受け×4  
k,コード止め×1    受けネジ着脱セット×1

## フェルトの貼付け例

本体を組立てる前に、本体の底面部品に付属の c フェルトを剥がれないよう下記イラストを参考に貼付けて下さい。

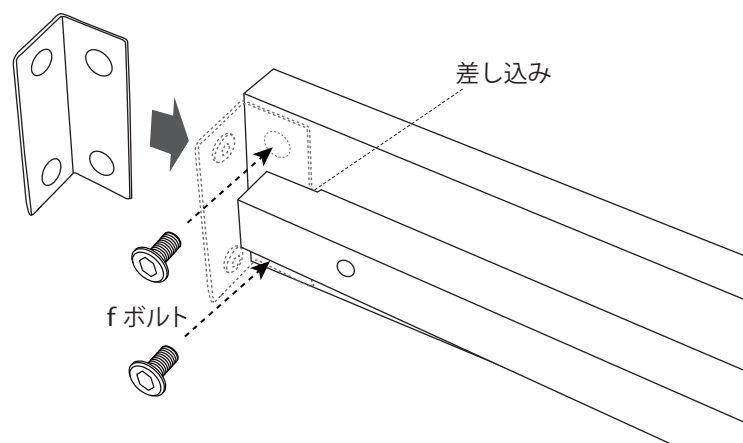
必要に応じて、市販のフェルト等を兼用して下さい。

フェルトは必要に応じて  
カットして下さい。



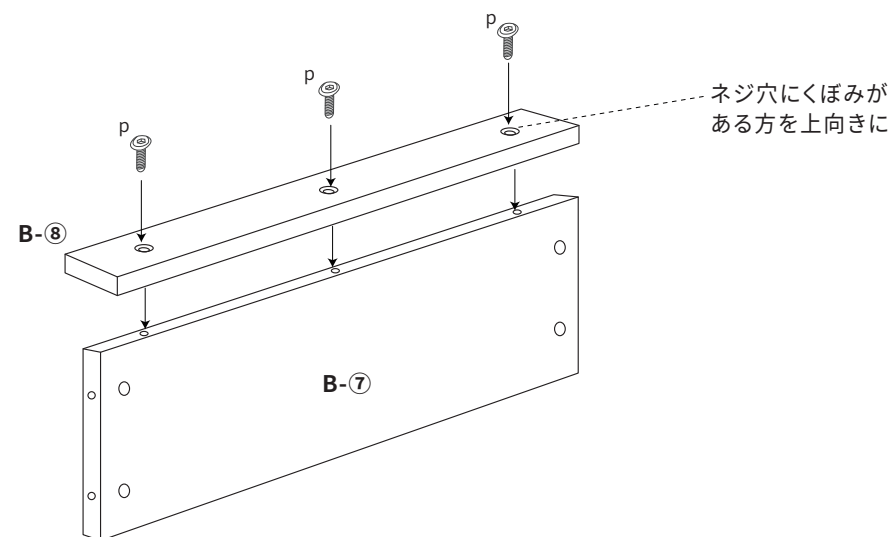
### 注意

サイドフレームへの金具の取付け方について  
サイドフレーム図の切込み位置に金具を差し込み取付けます。

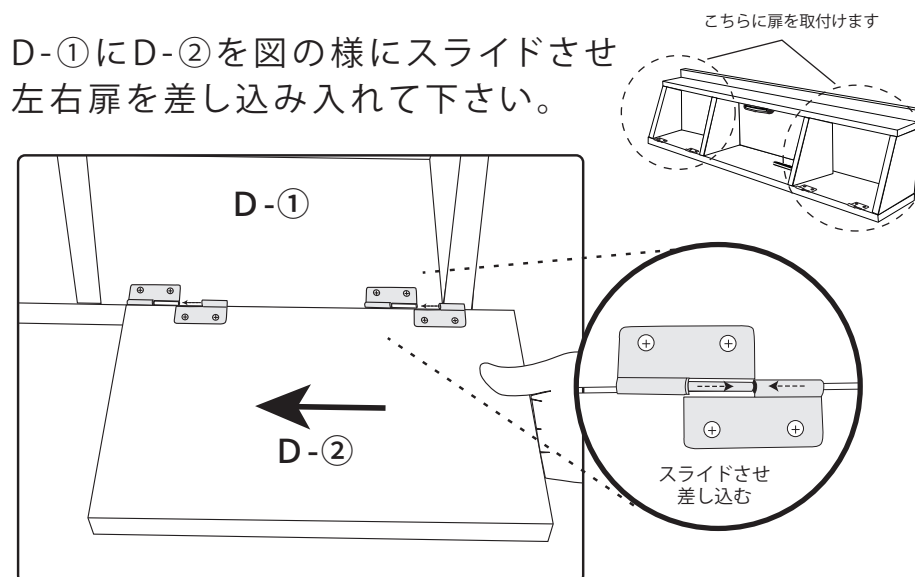


## 準備

B-⑦縦中板×2にB-⑧栈木をpネジを使い取付けて下さい。



D-①にD-②を図の様にスライドさせ  
左右扉を差し込み入れて下さい。



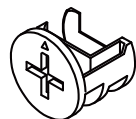
# ⇒ カムロックについて



●カムロックは以下の点に注意して取り付けを行って下さい。



カムロック  
ボルト

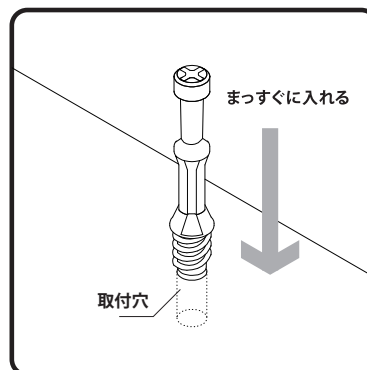


カムロック

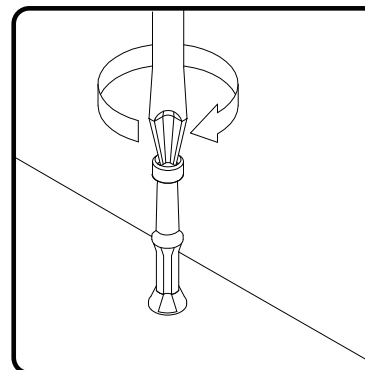
カムロックボルトを矢印の位置まで取り付ける。  
奥に入れ過ぎるとボルトが壊れてカムロックと  
かみ合わなくなってしまう。



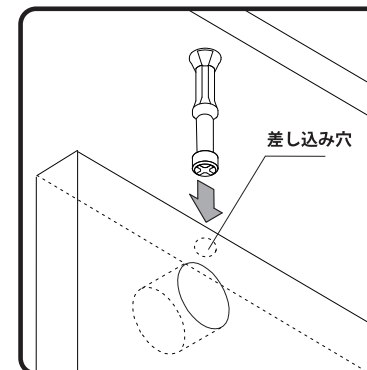
**1** カムロックボルトを取付け穴  
に対してまっすぐに入れてく  
ださい。



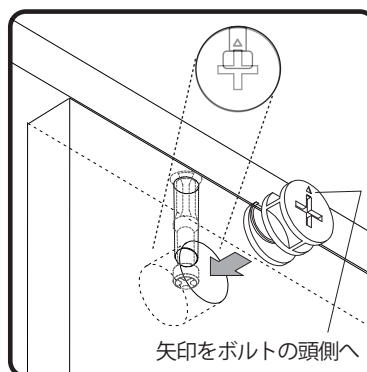
**2** カムロックボルトをネジ山の  
根元まで入れてください。



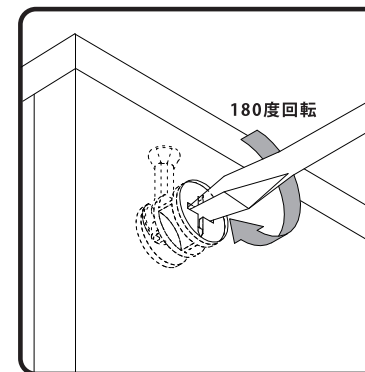
**3** カムロックのへこみ部分をカ  
ムロックボルト差し込み穴の  
方へ向け、まっすぐに差し込  
んでください。



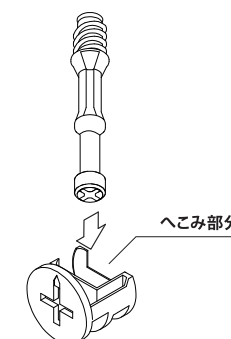
**4** カムロックボルトの頭が見え  
ている側にカムロックの矢印  
を向け図の様に差し込みます



**5** カムロックをドライバーで時計  
回りにしめてください。

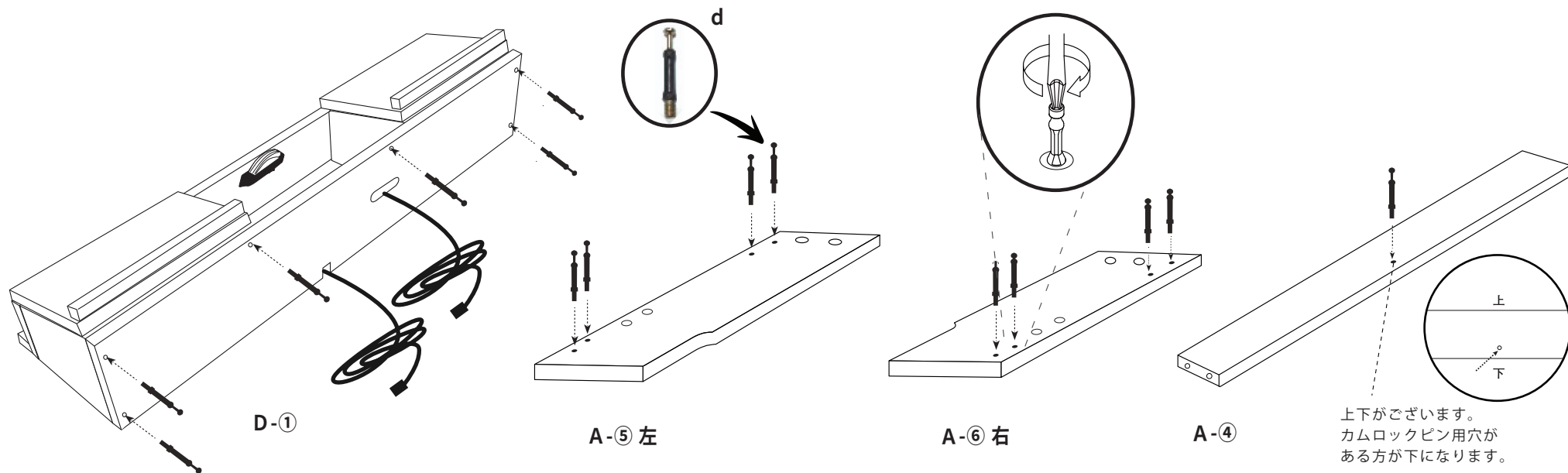


カムロックのへこみ部分をカムロック  
ピンに向ける事により、カムロックに  
カムロックボルトが差し込まれます。

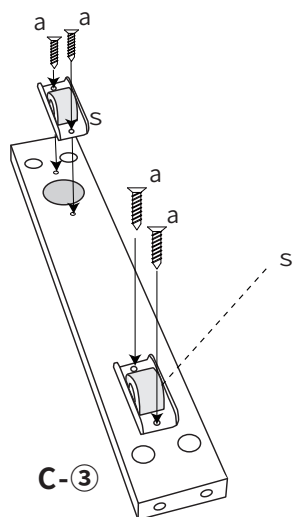


## 準備

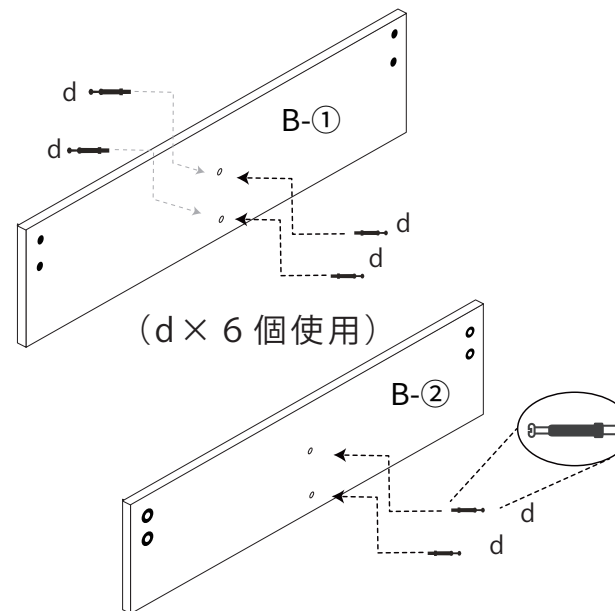
D-①, A-④, A-⑤, A-⑥, B-①, B-②, C-③に d のカムロックボルトを取り付けて下さい。



C-③引出し補強板×4に s, キャスターを  
図の位置に a, ネジを使い取付けて下さい。



B-①・B-②に d のカムロックボルトを取り付けて下さい。

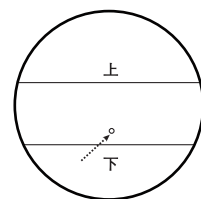
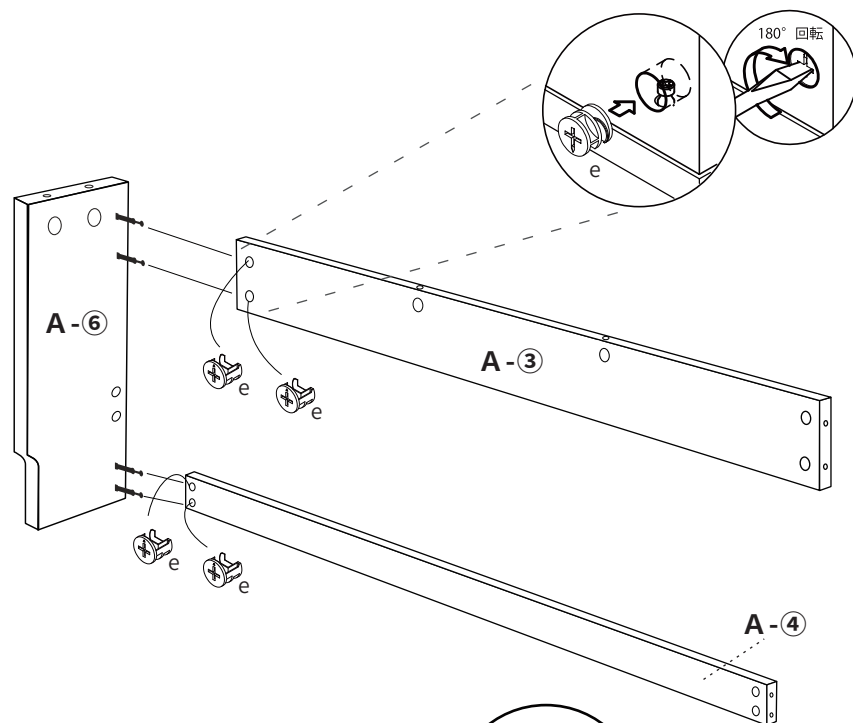


# 組立

## ヘッドボード組み立て

1

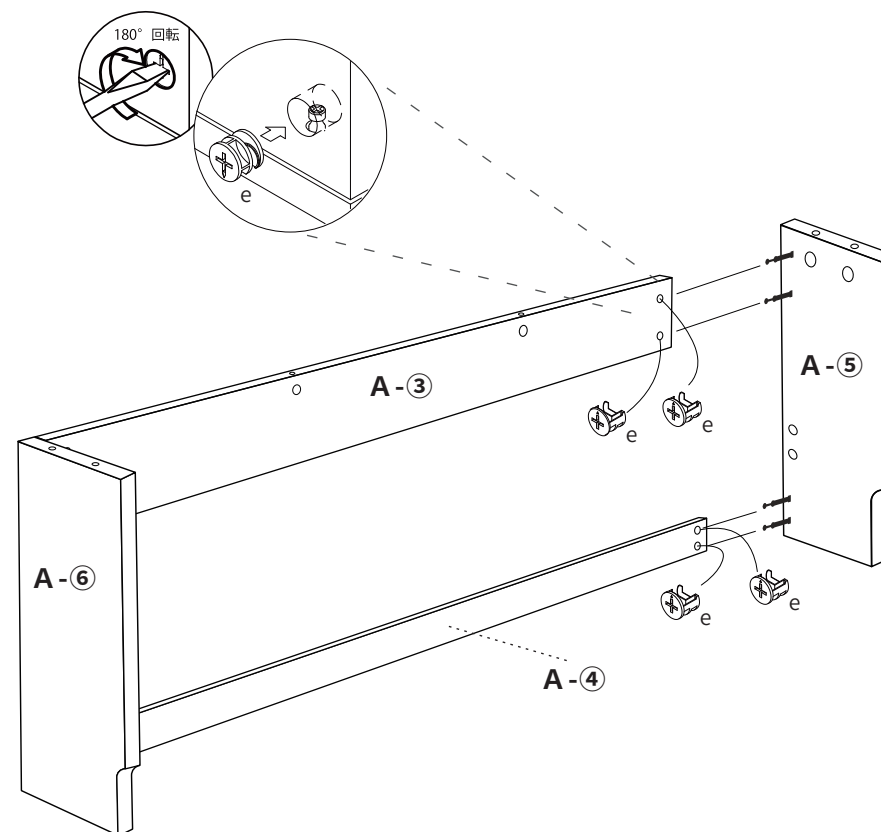
A-⑥にA-③、A-④、を  
カムロックで取り付けてください。



A-④上下がございます。  
カムロックピン用穴が  
ある方が下になります。

2

A-⑤にA-③、A-④を  
カムロックで取り付けてください。

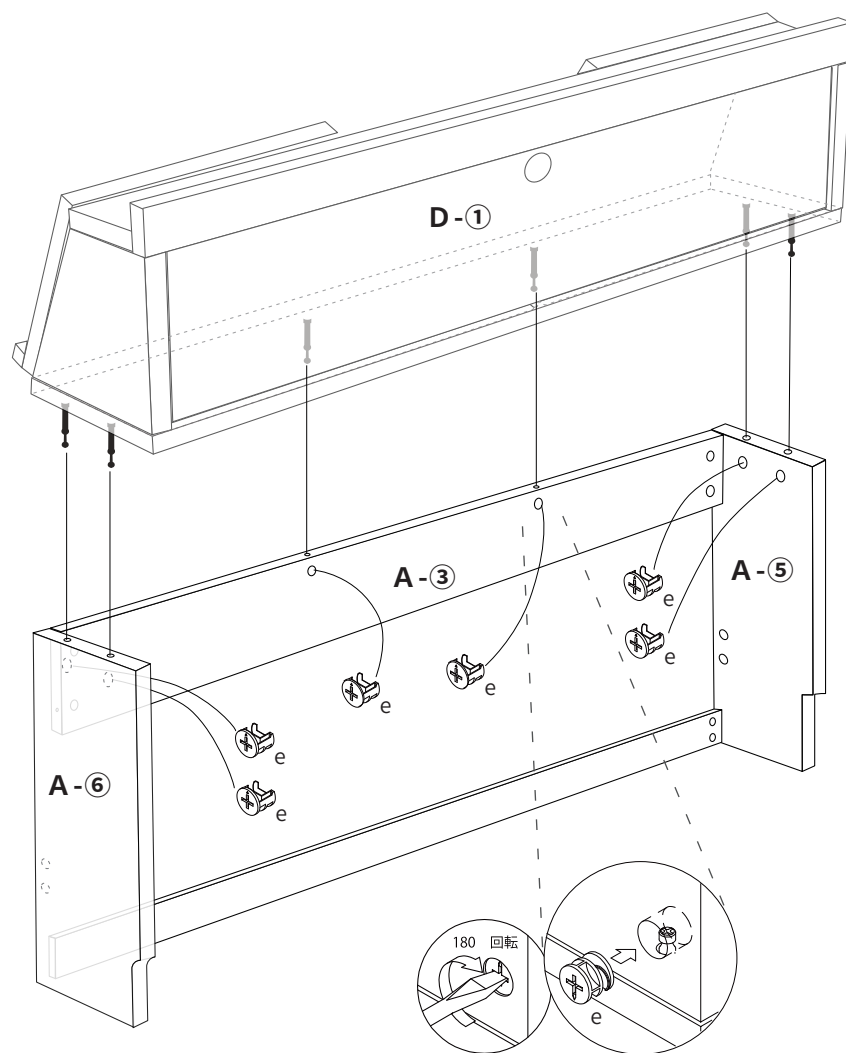


## 組立

### ヘッドボード組み立て

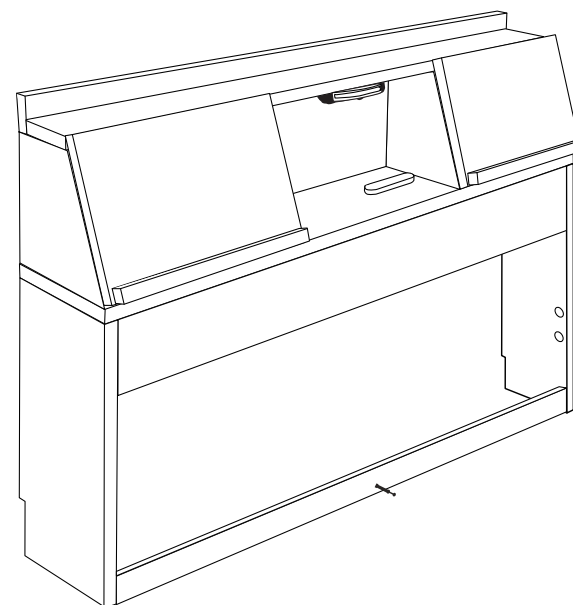
3

D-①をA-③、A-⑤、A-⑥に  
カムロックで取り付けください。



4

ヘッドボードの完成となります。

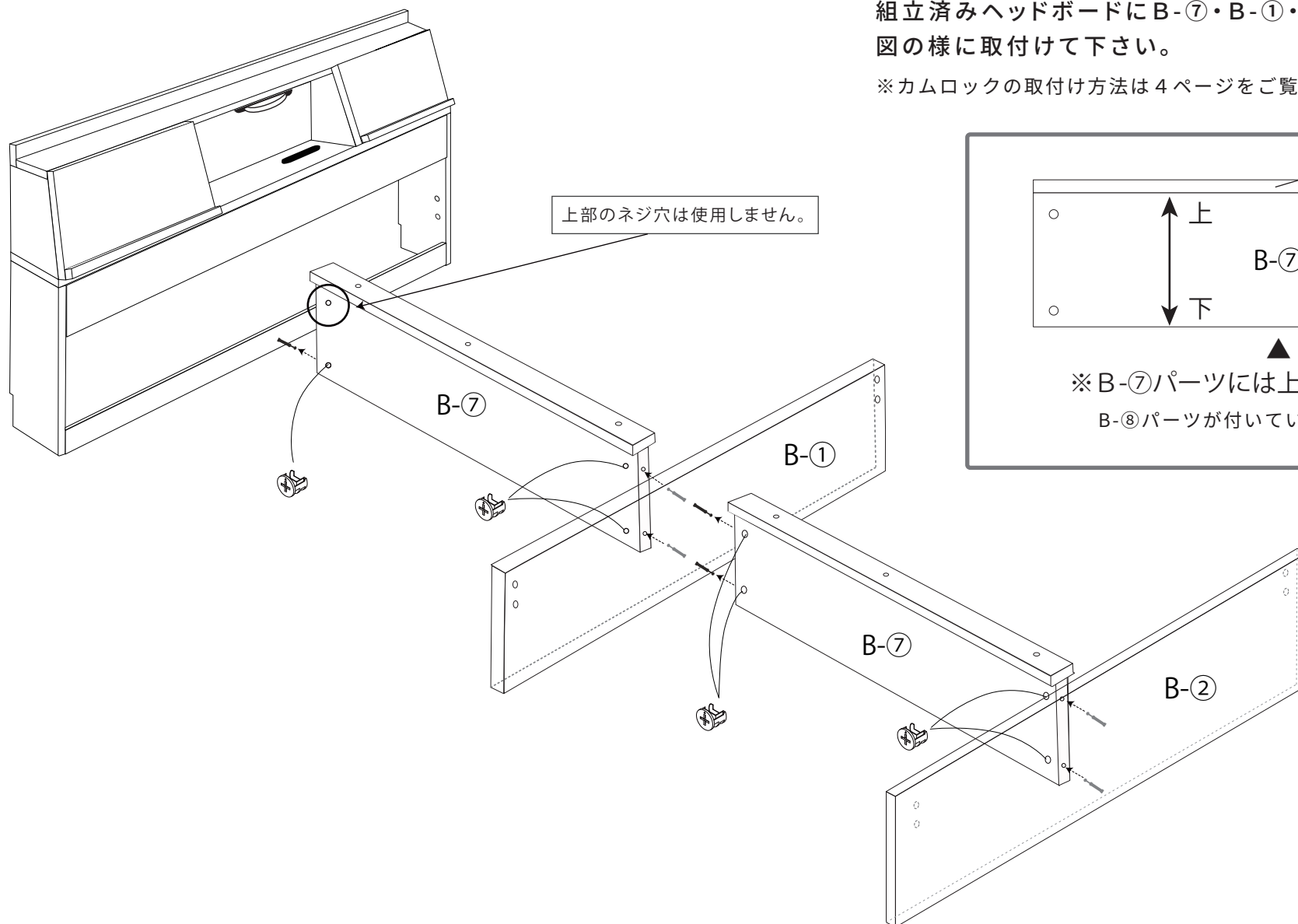


## 組立

### 本体組み立て

組立済みヘッドボードにB-⑦・B-①・B-②をカムロックで図の様に取付けて下さい。

※カムロックの取付け方法は4ページをご覧ください。





# 組立

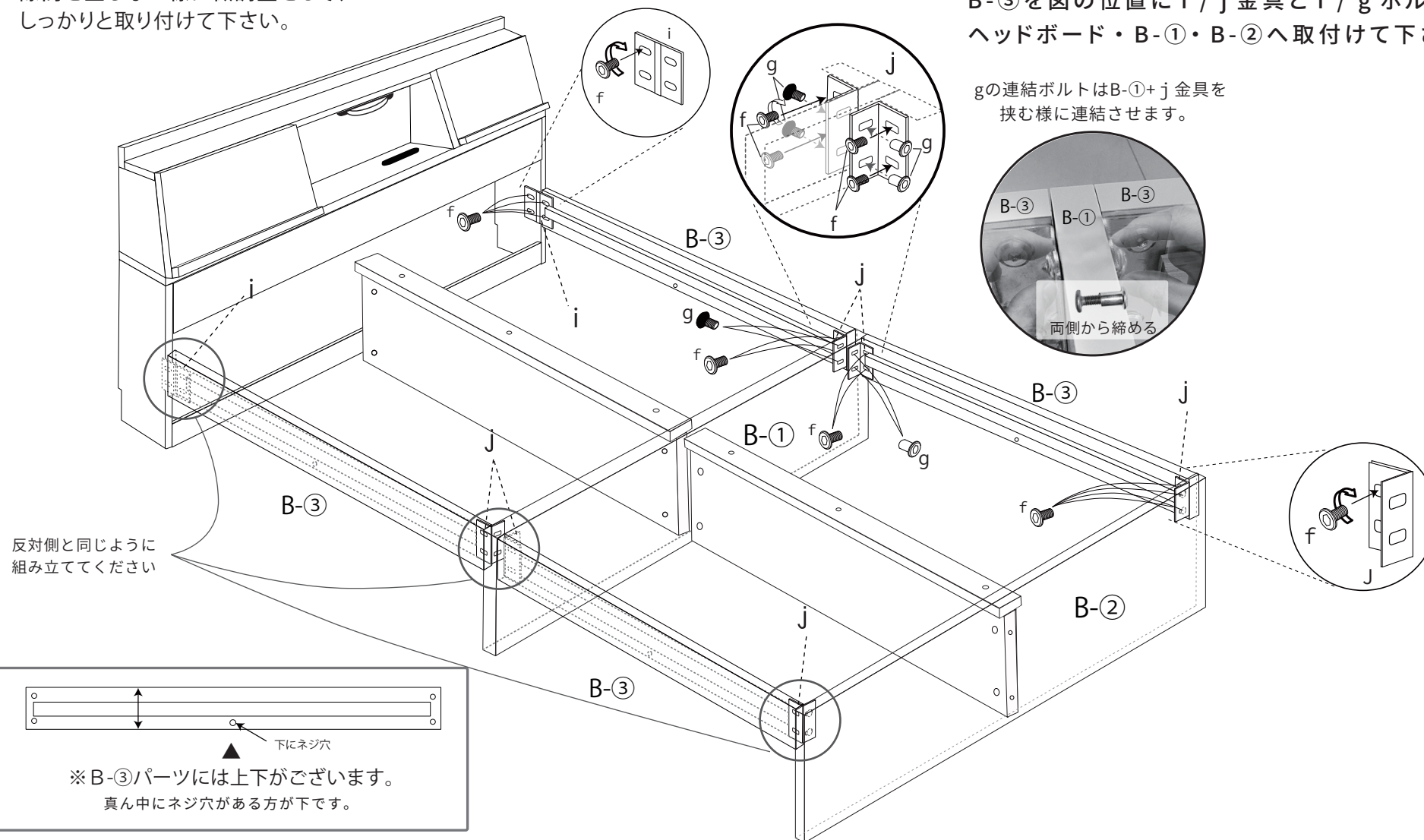
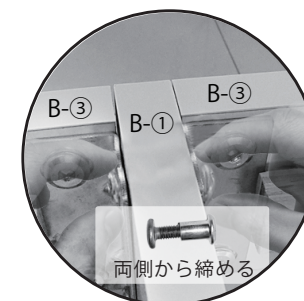
## 本体組み立て

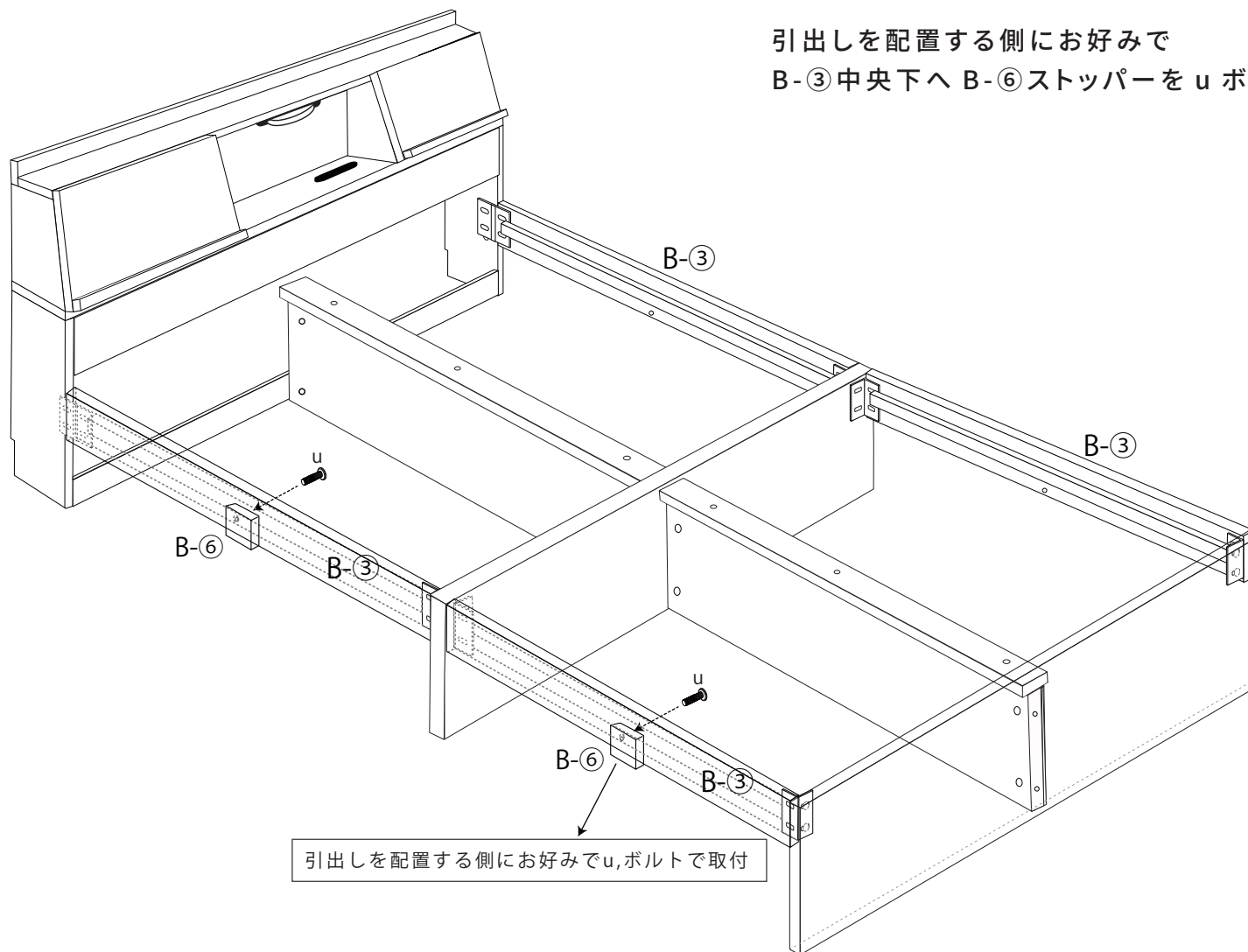
※ サイドフレームの各接続部分に  
隙間を生じない様に微調整をして、  
しっかりと取り付けて下さい。

※ i / j 金具のサイドフレームへの取付については  
3ページの注意をご覧になって下さい。

B-③を図の位置に i / j 金具と f / g ボルトを使い  
ヘッドボード・B-①・B-②へ取付けて下さい。

gの連結ボルトはB-①+j 金具を  
挟む様に連結させます。





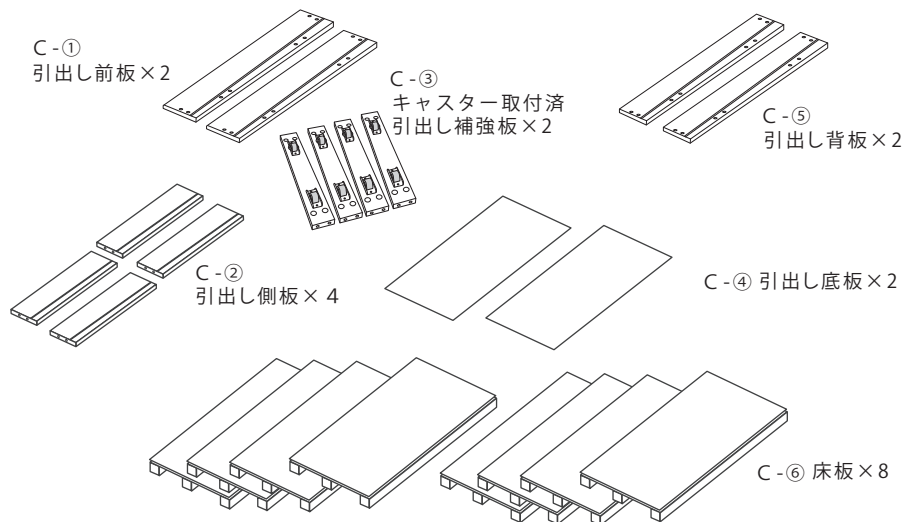
引出しを配置する側にお好みで

B-③中央下へ B-⑥ストッパーを u ボルトで取付けて下さい。

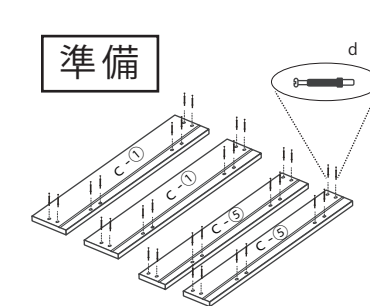
引出しを配置する側にお好みで u, ボルトで取付

## 組立 【引出し～床板】

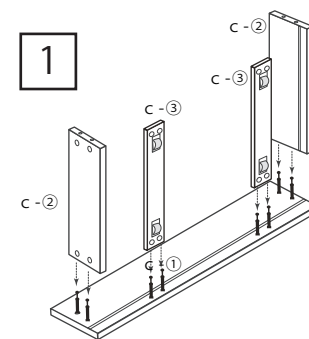
こちらの部品を使用します。



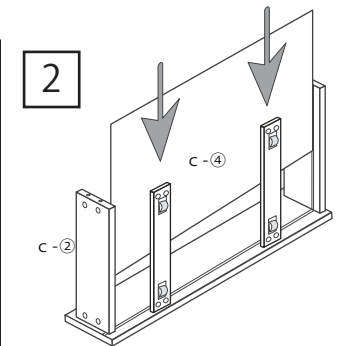
### 準備



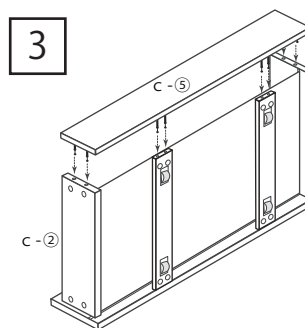
1



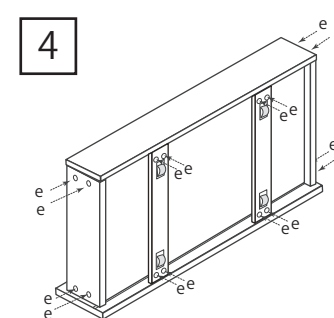
2



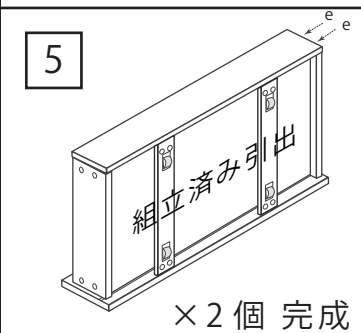
3



4

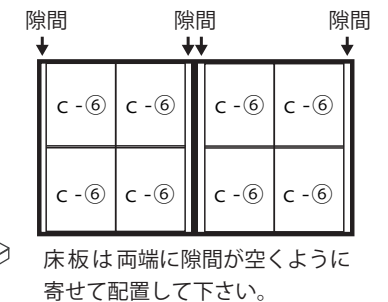
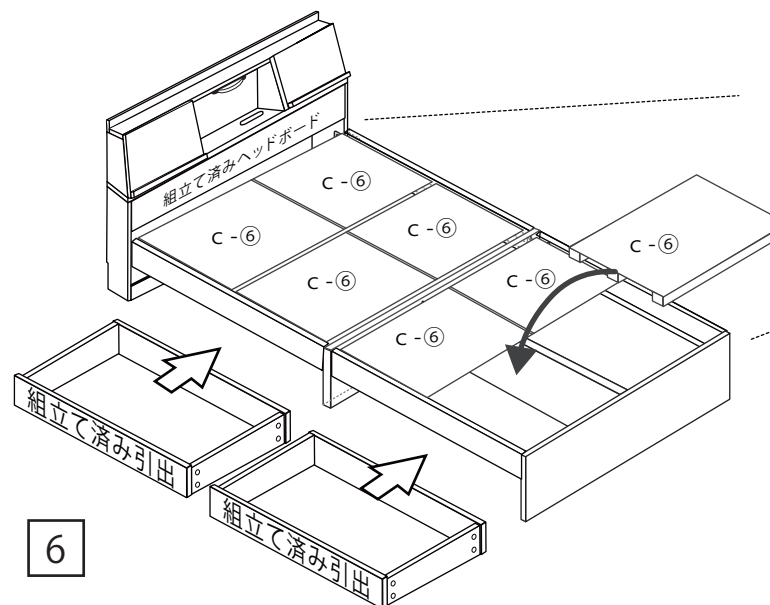


5

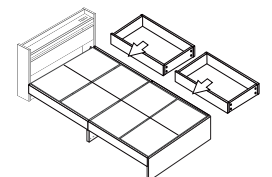


### 組立手順

準備	C-①, C-⑤にdを取り付けて下さい。
1	C-②と、C-③をC-①に取り付けて下さい。
2	C-④をC-②とC-①の溝に沿って差し込んで下さい。
3	C-⑤を取り付けて下さい。
4	それぞれをeで本締めします。
5	C-⑥を1枚ずつ乗せて下さい。
6	組み立て済み引出し2個を入れて完成です。



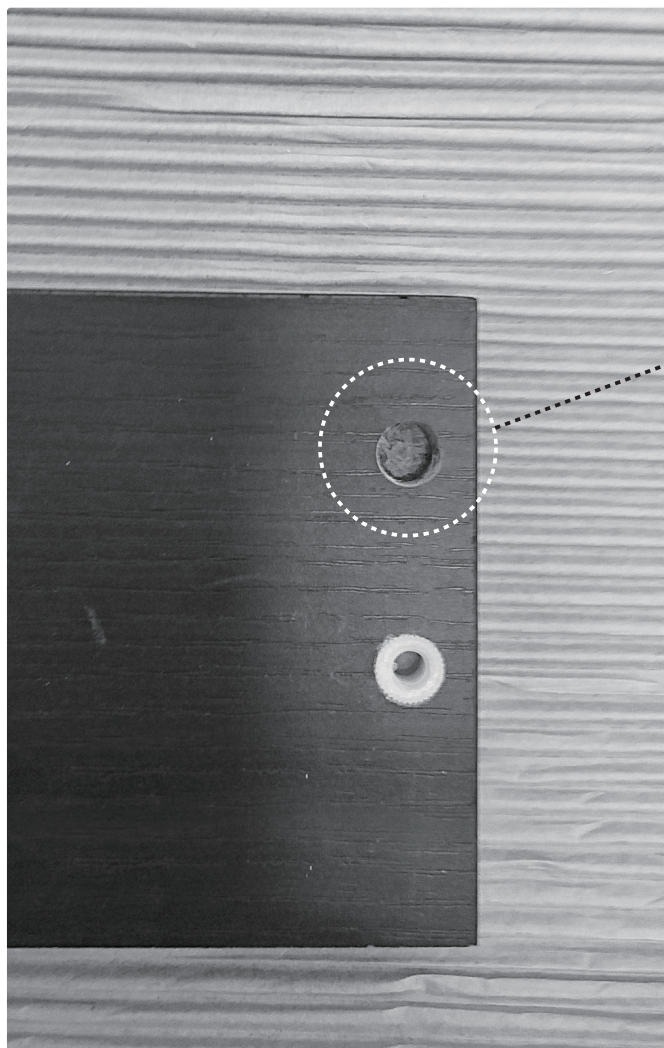
引出しは左右に付け替え可能です。





## カムロックボルト差し込み受けについて、お願いします

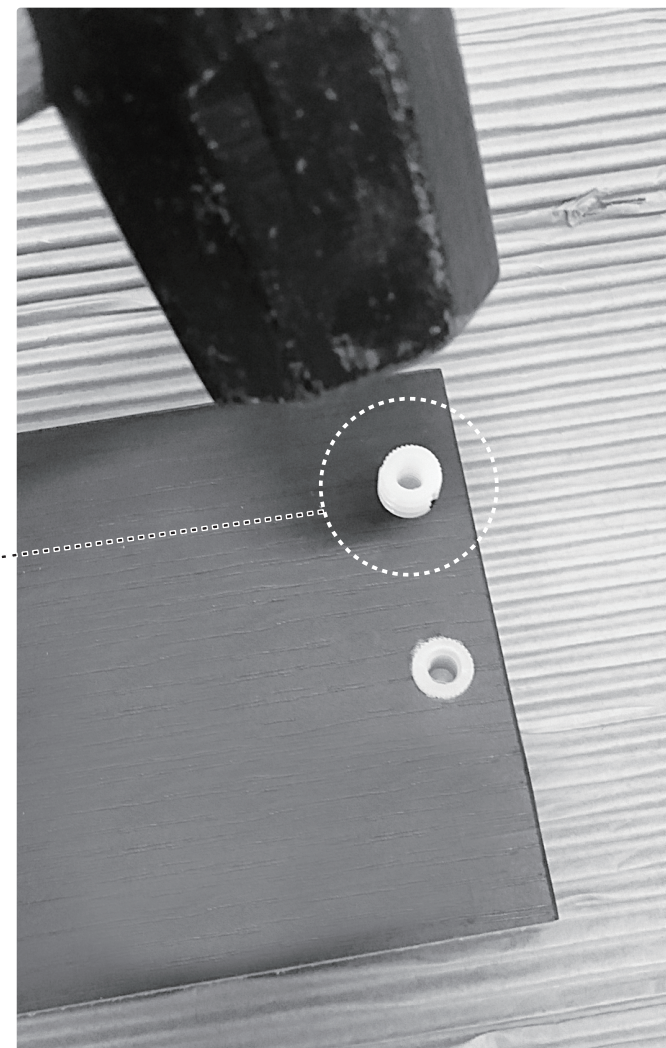
出荷前検品をおこなっておりますが、万が一カムロックボルトを差し込む受け（白色プラスチック製）の打ち込み漏れが御座いましたら、予備部品 k, カムロックボルト受けをハンマー等を用い図の様に打ち込み下さいませ。



白色プラスチック  
打ち込み漏れあった場合



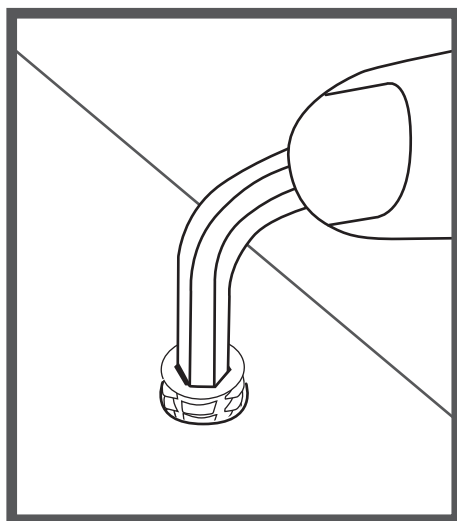
予備部品をハンマー等で  
打ち込んで下さい。





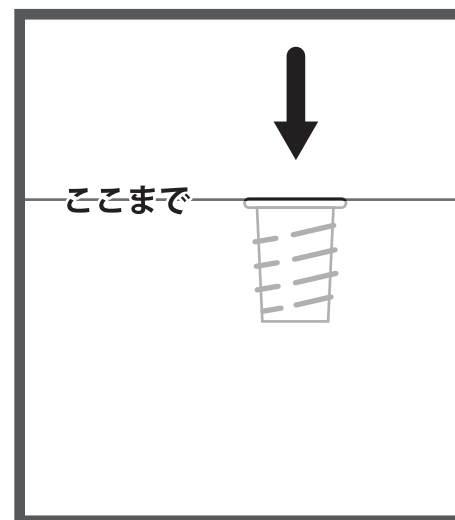
## ⚠ 受けネジについて、お願いします

出荷前検品をおこなっておりますが、万が一受けネジが無い、受けネジのネジ切が無い場合が御座いましたら  
予備部品 受けネジを六角レンチで図の様に装着、交換下さいませ。



専用の六角レンチで  
着脱可能です

右回転⇒装着  
左回転⇒取り外し



受けネジは締め過ぎない  
様にして下さい

板と受けネジ頭の高さが  
揃う程度で締め付けを  
完了して下さい

# 取扱説明書

この度は当製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
正しく安全にご使用いただくために、この取扱説明書を最後までよくお読み下さい。この取扱説明書は大切に保管しておいて下さい。

他の方にお譲りになる場合は、この取扱説明書を一緒にお渡し下さい。

## 記号の説明

取扱説明書では、製品を安全に正しくご使用いただくために、下記の記号を使っております。  
記号の意味をよくご理解いただき、本文をお読みください。



禁止の行為であることを告げる記号です。（～しないで下さい）



この記号は行為を強制したり表示する内容を告げる記号です。（～して下さい。）



記載されている内容を見逃して、誤った取扱をするとケガや室内へのキズ、  
製品が破損する恐れがあることを示します。



## 設置上のご注意

注意

ベッドを設置する際、以下の事に注意して下さい。



床面の平らな場所に水平になるように置いて下さい。  
ガタツキや異常音など故障の原因になります。  
ネジ類は確実に締め付けて下さい。



組立に際しては、手袋をして無理のない姿勢で行って下さい。  
部材の端角部や先端部等でケガをする場合がございます。



直射日光や熱、冷暖房器の風などが直接当たる場所は避けて下さい。  
変形・変色の原因になります。



ベッドの設置場所周辺の上部に落下物を置かないようにして下さい。  
地震時など落下物でケガをする原因になります。



製品を落としたり、物にぶつけたり、製品の上に物を乗せたりしないで下さい。



組立てる時に手、指、足を挟まないように注意して下さい。



部屋の中でコンセントの位置、家具の引き出し、扉の開閉に支障がないことを確認して下さい。



刃物を使用して梱包をあける場合は、ケガをしたり製品をキズつけないように注意して下さい。



床の材質によっては、ベッドの接地面が、傷つくことがありますので、極力カーペット類を使用して床面の保護を行って下さい。



電源コード（照明、コンセント付のベッドフレーム類及び他の電化製品等）をヘッドボード、フットボード及び脚等で  
踏まないで下さい。コードが破損し感電・火災の原因になります。



注意

## 取扱い上のご注意

ベッドを使用する際、以下の事に注意して下さい。



ベッドの上で跳びはねたり、立ちあがらないで下さい。  
(ケガをしたり破損の原因になります。)



ベッドの上で喫煙は止め下さい。火災の原因になる恐れがあります。



ペット類をベッドの上で寝かせないで下さい。ノミ、ダニの原因になります。



ヘッドボード、フットボードに乗ったり、強くもたれないで下さい。  
転倒や破損、ケガをする原因になります。



ベッドフレームの移動は必ず2人以上で行って下さい。腰を痛めたり、ベッドフレームが破損したり、床が傷つく原因になります。



規定の使用人数以上でのご使用は避けて下さい。破損してケガをする恐れがあります。

**規定人数** シングルサイズ…1人、セミダブル…1人、ダブル…2人、クイーン…2人。



ベッドフレームの上には必ずベッド専用マットレスを載せてお使い下さい。  
ベッド専用マットレス以外を載せてお使いになると破損してケガをする場合があります。



製品によってはデザイン上鋭角な部分もあります。身体等ケガをしない様に注意して下さい。



ベッドフレームの収納スペース内に人が入ることや、書籍類、金属類、食器類等重量物を入れることをしないで下さい。  
ケガや破損の原因になります。



注意

## 電気製品の注意

電灯付家具、コンセント付家具の注意



ベッドフレームの照明は読書用ではありません。点灯中の電球を長時間直視しないで下さい。  
目を痛める原因になります。



コンセント、照明器具は分解改造しないで下さい。火災の原因になることがあります。



電源プラグや電源コードは濡れた手で触れないで下さい。感電する恐れがあります。



電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに先端の電源プラグを持って抜いて下さい。感電・ショート・発火の原因になります。



電球の交換は必ず電源プラグを抜いてから行って下さい。感電することがあります。



ベッドフレームを動かす場合や長時間使用しないときは必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。  
絶縁劣化になる感電や漏電・火災の原因になります。



注意

## 保守点検



ベッドフレーム組付けネジが緩んでいないことを時々確認して下さい。  
キシミ音が生じたり、サイドフレーム等がはなれてケガをする場合がありますので、緩んでいる場合は締め直して下さい。



虫害を発見した場合は、直ちに殺虫や防虫処理をして下さい。放置すると虫害が、拡大する恐れがあります。



シンナーや、ベンジン等の有機溶剤を含んだ布などは使用しないで下さい。  
クリーナー等をお使いになるときは、一度目立たないところで試してからご使用下さい。